

てしお

第 135 号

平成23年11月30日発行

議会だより



北海道銀行新店舗



天塩町農協新事務所

目次

○第 3 回町議会定例会、専決処分、補正予算ほか	2 頁
○一般質問（4 氏 6 件）	
・山本議員 「脱原発と自然エネルギー」ほか 1 件	4 頁
・横山議員 「無線 LAN の環境整備」ほか 1 件	5 頁
・遠藤議員 「財政運営基本計画の策定」	8 頁
・川端議員 「地上デジタルテレビの難視と防災無線の 難聴と情報伝達」	9 頁
○決算特別委員会の審議内容	10 頁
○所管事務調査報告	11 頁
○行政報告、議会日誌など	12 頁

第3回天塩町議会定例会

9月定例会は、9月14日から15日までの2日間開かれ、行政報告に続き一般質問のあと22年度各会計決算（審査特別委員会で審査）のほか、23年度補正予算6件、教育委員の同意、意見書2件等を審議し、原案のとおり可決しました。



一般会計補正(専決第1号)

74万2千円を追加し、総額を4億3千74万2千円に。
 (平成23年8月18日専決)
 いきいきふるさと補助金、芸術文化鑑賞経費が補正の主な内容。

一般会計補正予算 (専決第1号)

歳入		単位：円
いきいきふるさと推進事業補助金		960,000
計		960,000

歳出		単位：円
芸術文化鑑賞経費		1,123,000
その他		△ 163,000
計		960,000



天塩町税条例の一部改正
 地方税法の一部を改正する法律、地方税法施行令の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令の交付による改正
 施行日 平成23年6月30日



- 【住宅リフォーム助成事業】
川端議員
水道の配管等で、漏水したとか、そういう場合、事前着工をした場合認定されないなどのトラブルは。
住民課長
事前着工しないっていうことが基本になっており、去年から始めたがそういう事例今のところありません。
要綱等を精査して対応していきたいと考えます。
- 【海岸漂着物地域対策推進事業】
横山議員
委託先を競争入札方式で決定するのか。
企画商工課長
設計をして、業者を指名して、入札をしていくという格好になると思います。
- 【保養センター管理経費】
横山議員
てしお温泉夕映の防犯カメラはどこに設置するのか。
企画商工課長
脱衣室の入り口の柱に設置するよう指定管理先の観光公社と協議します。

意見書

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

1 東日本大震災の速やかな復興に向けて、被災した森林や木材加工施設等の早期復旧に加え、復興木材の供給に向けた被災地域及び全国における森林・林業再生を加速化すること。

2 今般導入される地球温暖化対策のための税の使途に森林吸収源対策や木材利用促進を位置付けるなど森林整備推進等のための安定的な財源措置の確保による森林経営対策を推進すること。

3 間伐等森林整備の推進、持続可能な森林経営の確立に向け、森林管理・環境保全直接支払制度による搬出間伐の推進、路網整備等経営基盤の整備、担い手育成確保対策の強化を図るとともに、森林施業の集約化や機械化の推進、森林整備経費の定額助成の導入など効率的施業の推進と所有者の負担軽減を推進すること。

4 低炭素社会の実現に着目した公共建築物や民間住宅・事務所等での地域材の利用を推進するとともに、新たなエネルギー政策の転換の検討に当たって、木質バイオマスエネルギーを最大限活用するなど国産材の利用拡大を推進すること。

5 森林整備加速化・林業再生事業の拡充・延長により、川上・川下が一体となった森林・林業の再生に向けた取り組みを推進すること。

6 国民共有の財産である国有林については、一般会計により、公益的機能の一層の発揮を図るとともに、森林・林業政策の推進に貢献するため、国による一体的な管理運営体制を確立すること。

シジミ資源の減少対策に関する意見書

1 サロベツ川、天塩川の合流点におけるサロベツ川河床掘削
サロベツ川と天塩川の分岐点の段差解消のため、サロベツ川河口部の河床掘削により塩分遡上の促進を図ること。

2 天塩川下流域における遊水地の造成
治水対策として、天塩川下流部(サロベツ川合流点付近)に遊水地を造成し、シジミが生息できる環境を確保することにより、地域資源の増進を図ること。

次の2件の意見書は可決後、直ちに国などの関係機関に提出しました。

一般会計補正予算（第2号）

歳入	単位:円
普通交付税	82,281,000
社会資本整備総合交付金	6,800,000
地域支え合い体制づくり事業補助金	3,150,000
北海道グリーンニューディール基金事業補助金	7,700,000
いきいきふるさと推進事業補助金	1,000,000
高規格救急車整備事業	12,000,000
前年度繰越金	22,204,000
その他	1,238,000
計	136,373,000

歳出	単位:円
天塩町振興基金対象事業補助金	1,000,000
住宅リフォーム助成事業	3,000,000
介護保健特別会計繰越金	6,900,000
障害者自立支援給付費等負担金返還金	1,149,000
地域支え合い体制づくり事業	3,150,000
ケアハウス管理経費	1,101,000
ケアハウス棟施設整備事業	3,150,000
浄化槽設置整備事業補助金	850,000
西天北五町衛生施設組合負担金	1,817,000
水道事業特別会計繰越金	51,370,000
海岸漂着物地域対策推進事業	8,000,000
パンケ沼の底質改善(覆砂)事業補助金	12,294,000
商工振興事業補助金	4,500,000
物産開発促進事業	500,000
天塩町観光協会補助金	1,000,000
町民保養センター管理経費	1,000,000
消防事務組合負担金	25,698,000
更岸小学校閉校事業実行委員会負担金	1,500,000
スクールバス購入事業	3,589,000
中体連体育大会参加補助金	545,000
町民スキー場開設経費	618,000
その他	3,632,000
計	136,373,000

一般会計補正予算（専決第3号）

歳入	単位:円
地域づくり総合交付金	8,290,000
前年度繰越金	3,260,000
計	11,550,000

歳出	単位:円
多目的交流施設修繕事業	11,550,000
計	11,550,000

山本春光 議員

町として脱原発を宣言すべき

町長 今後の状況を見極め
検討を重ねます



山本 春光 議員

電などの設置を考えられないか。

町長

脱原発を実現するために、今代替として現実的な火力発電における石炭火力等にすぐ戻るといふことは、やはり私はどうかかなという思いもあります。

いろいろな要素を踏まえながら再生可能エネルギーの宝庫である北海道の優位性を活かし、対処をしていくことが重要だと思います。本町の脱原発宣言は、慎重に検討をして参ります。

自然エネルギー計画は、地域の特性を生かした風力エネルギーや家畜糞尿からのバイオマスエネルギーなど環境保全や地域振興の観点などからも様々な取り組みを進めていく必要があると考えます。

太陽光発電の活用は、自然エネルギー全体の取り組みの中で進めていかなければならないところで

ありますし、防災対策関連についても、しっかりと議論し、検討をして参ります。

平成25年度から改築予定の天塩小学校の太陽光発電の設置は、検討を重ねて参りたいと考えています。

質問

幌延町長が処分場選定に受けた文献調査の受け入れに対して、名を言をしなかったことに対して、幌延町がなし崩し的に処分地にされかねない状況があると報道をされておりましたが、隣接する町として、地震だけではなく、いろいろな場合を想定して準備を整えることが町として急がなければならないと思います。町長のご見解を。

町長

過去に幌延町の問題で、賛否両論があつて、天塩の町が二分して大激論になつてしまつたことがあります。

この問題で町が二つも三つも割れてしまうなんてことはあつてはならないことだと思ひます。大きい問題なので、慎重に対応したいと思ひます。

山本春光 議員

もっと人を集客できる新たなイベントを取り組むべき

町長 充実したイベントを実施
できるよう検討します

質問

町長の挨拶に、人づくり、夢づくり、希望に萌える町づくりとありますが、今日までいろいろなイベントがなくなつていき、活力あつた町づくりとして、大変に寂しくなつてきているのではないのでしょうか。

最近、それぞれの関係者が町を元気にしようと頑張つていることは、大変素晴らしい取り組みだと思ひます。

今後は、もっともつと人を集客できるような新しいイベントへの取り組みを考えてはどうか。

質問
福島第1原発の事故以来、脱原発を国や道に求める意見書案を可決する動きが道内の市町村議会において急速に広がつておりますが、道内市町村が脱原発可決の宣言をされている中で、天塩町としても脱原発を宣言されるべきでは。また今後の取り組みについて、天塩町として自然エネルギーの計画的転換に着手すべきと考えます。天塩町としても防災対策に対して万全でないところに、例えば天塩中学校学校の屋上などに、又、建設予定の小学校などに太陽光発

町民参加型のイベントで町が元気になるようお互いに知恵を出し合い、特定の人たちで物事を決めるのではなく、いろいろな方々が協力できる体制づくり、継続的なイベントへの取り組みをすることが大事ではないか。

また、「しじみの町天塩」のイメージが全道各地広い地域にインプットされているとは思いますが、しじみの収穫高も年々減少傾向にあるとお話も聞いております。町としても地元でとれた食材を使った特産品が非常に少ないと思います。

新たな特産品の開発を目指してはどうか。

町長

イベントの実施は、天塩町観光協会や多様な年代の方々の参画をいただき、実施されております。

そうした方々や関係機関と連携を深めつつ、町民の皆様の意見が反映され、充実されたイベントが実施されるよう、検討・努力をしております。

町の特産品は、「チューチュープリン」をはじめ、タコキムチ丼、スナカレイの唐揚げなど様々な特産品が開発されております。

商工会が平成21年度に行った村

おこし事業では、地元天塩高校生が加わり、6商品の開発につながりました。

地域でかねてから特産品につなげたいと思いが強かった、地元の生乳からつくられるチーズが出来、そのチーズを活用した商品の開発も始まっております。

さらに、レトルトホツキカレーも開発されました。冷凍や冷蔵の特産品が多い本町には価値観の高いものと考えます。

質問

今年のお盆のイベントは盆踊りしかないため、私達も関係者で何とか盛り上げようとして、子供仮装盆踊りを取り組みましたが、残念なことに雨で中止になりました。

8月のお盆時期、いろいろな方々がふるさと天塩に帰省をしてくる時に何か楽しい催しものがあった方がいいのでは。

多くの市町村が仮装盆踊りを開催しているのに、我が町がなぜなくなつたのか非常に残念でなりません。

町長

もう一度仮装盆踊りなどを復活してはどうか。

ぜひ、前向きに検討したいと考えます。

横山 敦 議員

観光・公共施設に無線LAN (Wi-Fi) を設置すべき

町長 関係機関と連携し整備を検討します



横山 敦 議員

と考えられ、天塩町の知名度やイメージが向上することも行政が進める一つの意義といえます。

他の市町村がIT化による行政サービスを展開する中で、当町での無線LANの環境整備についての考えは。

少なくとも観光の玄関口である『道の駅てしお』や会議・講習・講演会が多く行われる『てしお温泉夕映』、『役場庁舎』、『福祉会館』、『雄信内生活改善センター』には整備すべきでは。

町長

現在、公共施設で利用者にインターネットなどのできる無線通信ネットワークサービスの提供はされております。

宿泊者のニーズや無線LANの利用は、年々増えていると認識しております。

夕映温泉では、温泉利用者と宿

泊者両者のサービスの提供などの観点から(株)天塩観光公社と連携した整備が必要と考えるので、協議し検討します。

道の駅での無線LANは、協議し、利用者のサービスの充実や促進などにつなげるように整備の検討をします。

役場庁舎などの無線LAN整備についても、ニーズや防災上の利用、また、役場情報のセキュリティの管理の方法など慎重に検討させていただきます。

質問

提案する無線LANの規格は、WiFiという通信規格であり、現在発売されているノートパソコンやスマートフォンに標準装備されております。現在は空港や一部の道の駅、ホテル、ファーストフード店などでも利用でき、このような場所での情報収集や発信は今や標準的な行動であります。集客にも欠かせない環境整備とも考えられます。この無線環境を利用し、様々な活用が考えられますので、積極的に検討をしては。

当町はIT化による行政サービスが遅れているように感じます。今後ITを活用した行政サービスを推進していく上で、いち早く

情報をキャッチし、情報通信技術の導入や検討、既存システムの運用などに対する協議の場を知識のある一般町民や町職員で委員構成をし、IT推進会議などの名称で設置をしては。

町長

無線LANの関係は、時代の流れに遅れないようにいろいろな形で整備をしたいと考えます。

IT知識のある組織をつくるかどうかは、内部検討させていただきます。

ひとくちメモ

Wi-Fi(ワイファイ、wireless fidelity)は、無線LAN機器間の相互接続性を認証されたことを示す名称、ブランド名、WiFiなども表記される。

最近では、ノートパソコンやニンテンドーDSやPSPといった携帯ゲーム機や、音楽プレイヤー、デジタルカメラ等の家電製品にも搭載されている。

横山 敦 議員

住民に向けた情報発進をしっかりと行うべき

町長 防災情報は10月上旬に運用を開始します

質問

一つ目に、防災でしおの発信ですが、現在の防災無線は屋外スピーカー方式のため風向きや反響により屋内では聞き取りにくいのは性質上ある程度はしかたのないことだと思われまます。

しかし防災情報のメール送信や天塩町ホームページ上での周知はそう難しいことではないと考えますが、未だ実施に至っていない理由は。

二つ目に、町内公共施設などにまちづくり提案箱を置き、まちづくりに対する住民の意見を広く聴

取し、町政へ反映させようとの主意で設置していると思いますが、この提案箱がきちんと機能してないと感じられます。今後、広く住民の声を取り入れ町づくりに反映させるために、

- 1、まちづくり提案箱の設置数と設置場所は。
- 2、提案箱に寄せられる提案書の数と提案意見の取扱いはどのようになっているのか。
- 3、天塩町ホームページ上にウェブ版提案箱の設置をしてはどうか。
- 4、寄せられた意見に対しての回答を毎月広報などで、広く住民へ公開してはどうか。

町長

防災無線の難聴対策について、携帯電話やパソコンに天塩町の防災情報を送信できるシステムと無料のフリーダイヤルで確認できるサービスを考えており、どちらも9月末から10月上旬に運用できる見込です。

「まちづくり提案箱の設置数と設置場所」は、天塩町役場、社会福祉会館、天塩町立病院、雄信内支所の4ヶ所に設置しております。

提案箱に寄せられる提案数と提案意見の取扱は、過去、5年間で

5件です。

提案意見の取扱は、1ヶ月に1回町長・副町長及び関係する部署に報告をしております。

町のホームページ、ウェブ版の提案箱の設置は、過去に設置をいたしました。大量の誹謗・中傷があつたため閉鎖しました。引き続き設置には慎重な対応をいたします。

寄せられた意見に対しての回答を広報などで住民に公開してはどうかは、提案箱に寄せられた意見に対し、担当の各部署から回答をしております。提案された意見の広報などへの公開につきましては、提案者の意見に配慮しつつ、検討します。

質問

防災情報発信の関連として、近日、NTTドコモ社が行うエリアメールサービスの導入も合わせて検討するべきでは。

このサービスは気象庁などが発表する災害非難情報を同社の携帯電話を持つ天塩町内のエリアにいる利用者に一斉に伝えるサービスで、利用者の申し込みは不要、通信料、情報料なども一切無料となっております。町とNTTドコモ社

との契約のみで利用できるものがあります。

防災に役立つサービスが今後、他の携帯電話会社で開始された場合も導入を検討するべきでは。

まちづくり提案箱ですが、過去5年間で5件と全く機能しておりません。

住民の声を聞くための少ない機会の一つであり、もつと活用できるように提案書の刷新や無記名での提案も可とするなどホームページ上の提案箱の復活も含め検討すべきでは。

1ヶ月に一度、寄せられた全ての意見の内容を課長会議等で精査し、住民の声を町長・関係部署のみならず、共通の行政課題として認識し、反映させ、住民と町が一体となつて、今後のまちづくりを進めていくべきでは。


町長

まちづくり提案箱はこの制度のあり方を検討し、改善をしてまいります。

□防災無線フリーダイヤル□

防災無線が聞き取りにくい場合、録音音声により固定電話・携帯電話から利用できます。

ただし、1時間以内での対応となっております。

 0800-800-1545 (通話料無料)

混み合っている場合は、時間をおいて再度おかけ直してください。

防災メール
申し込み方法
(町HPに掲載)

申込される場合は、bousai@teshiotown.comへ題名に「防災メール希望」と入力し送信してください。
(氏名、連絡先は記載不要です)

◆QRコード読み取り機能のある携帯電話は右のコードを読み取ってください。

別サイトが立ちあがります。

↓
「メール作成画面はこちら」をクリック

↓
メール作成画面が立ちあがります。

◆その後、空メールにて送信してください。



遠藤 功 議員

将来に希望の持てるま ちづくりをすべき

町長 健全な財政を維持し ながら取り組みます



遠藤 功 議員

質問

赤字団体へ転落する危機的状況にあった天塩町の財政は健全化計画の施行によって回避され財政調整基金等の基本的財源の確保はさ

れておりますが、国内の政治経済はご承知のとおり不安定な上に東日本の大震災の復旧復興と福島原発事故収束やその他の矢継ぎ早に猛威を奮う災害で受けた被害復旧対策のために必要な財源確保の目処はなく、地方交付税等、税を主要財源とする本町の財政運営に大きな不安材料としてのしかかっていると思えます。

このような状況の中にあつて、未来に向け、町民生活をより安心安全とするためには、先の財政健全化計画を引き継ぐ計画的な行財政運営の指針を新たに策定し、将来に希望のもてるまちづくりをするべきでは。

町長

平成19年度から平成22年度まで、天塩町財政健全化計画を策定し、その間、人件費の削減、補助金公募制度の導入、それから扶助費の見直し、使用料・手数料の見直し、指定管理者制度の導入などにより、歳出の徹底した削減を実施し、町民の皆様、町議会、職員の皆様のご理解とご協力により、危機的な状況を乗り越え、一定の成果を上げることができました。

国内の情勢は、東日本大震災の

復興・福島原発事故の対応、また台風による異常気象により、各地で起きている災害対策などに伴う財源確保のため、地方交付税の大幅な減収が見込まれ、本町を取り巻く財政運営も一段と厳しい状況が予想されます。

平成24年度から、天塩小学校校舎改築工事も控えており、そのためには、長期的な展望に立ち、限られた財源を効率的に運用し、適切な財政運営を行っていかねればなりません。平成23年度において、天塩町総合振興計画との整合性を図り、新たな計画の策定作業に入りますので、平成24年度中の完成を目指していききたいと考えます。

質問

財政健全化計画の中で災害問題については、とにかく大変な状況を招くわけですから、大きな天塩町の財政に負担を伴ってくるだろうというふうに思います。

今、防災計画の見直しを町はされてると思いますが、ぜひともこの後期の財政健全化基本の計画の中に天塩町のそういった防災計画、そういったものを重点的に捉えた財形計画とするようにすべきでは。

町長

防災計画の見直しについては財政の健全を維持しながら、進めていかなければならない。いろいろな形で節約を進めながら取り組んでいきたい。

町功労者を表彰議決

本田 善彦 氏 (72歳)

桑田 憲治 氏 (72歳)

町民栄誉賞授与を議決

金 由起子 氏 (34歳)

各種委員を同意

【天塩町教育会委員】

横溝 裕美子 氏 (新任)

天塩町新地通8丁目

【固定資産評価審査委員】

和田 昇 氏 (再任)

天塩町字川口282番地の3



川端英嗣 議員

川端英嗣 議員

住民に公平な情報提供 を行うべき

町長 万全を期する方向に 近づけます

質問

地上波テレビは今年7月24日をもって東日本大震災で被災した東北3県を除く44道府県で地上デジタル放送へと完全移行しました。

ただ一部では地デジ対応が間に合わず、テレビが見れなくなる「地デジ難民」といわれる方々が発生しておりますが、天塩町で難視地区は何世帯あるのか。その対応はどのようにしたのか。

台風の時期などテレビ難視地区は、衛星放送が見られても、ローカル局が見られず地域情報が入るのが遅くなります。

災害時には地元放送局の災害情報が流れてこない。台風・大雨の時は特に心配であります。

防災無線の難聴とテレビの難視が重なっている世帯は何戸あるのか。

また、難視・難聴地区に対する情報伝達の手段はどのようにするのか。

そして、光回線の導入はどこまで進んでいるのか。

町長

町内の難視地区は、市街地も含

め9地区、81世帯あります。

その対応は、全て国の対策で行われまして、うち高性能アンテナの対応が10世帯、衛星放送の対応が71世帯です。

難視世帯のほとんどは、民間放送が1、2局が見られない状況で、NHKは全世帯が見られます。

よって、防災無線の難聴と国の定義のテレビの難視が重なっている世帯は、7地区35世帯ありますが、共同アンテナ設置などの対応は必要がないと考えております。

防災無線の難聴対策につきましては検討してまいります。

光回線の導入は、国の補助金が見込めないことから、難しいと思っております。

質問

衛星放送は東京の1局であって、天気予報は北海道は晴れ・くもり、その程度で、留萌地方・宗谷地方の天気、注意報・警報入りません。

南更岸地区は昨年のゲリラ豪雨による土石流で命に関わるような大きな被害を受けた世帯が数件あり、ここは防災無線の難聴とテレビの難視が重なっている世帯です。

また、町立病院に寄贈された医療機器、デジタルX線、これを最大限活用するためにも、開発局が整備している光ケーブル、これはケーブルが道の駅まで届いており、

回線にまだ空きがあると聞いております。これを利用してもらうような事業をぜひ早急に進めるべきでは。

町長

災害の体制について万全ではないと思えます。

まだ万全とはいえませんが、やはり第一に弱者を救済することとが基本ですので、そこを主眼としながら、この対策に万全を期する方向に近づけていきたい。

開発の光回線は既にこの近くまで入っており、使えるよう協議を行っており、おおむね了解を得ているので、連携する相手病院を見極め、取組みをしてまいります。

決算審査特別委員会

9月14日～9月15日

22年度各会計決算は、決算審査特別委員会(川端委員長)に審査を付託し、本会議を休会し集中的に審議しました。その審議内容を紹介します。

○一般会計

【国有財産】

遠藤委員

当初予定額から50%アップになっっているがその理由は、

企画商工課長

自衛隊宿営地用の助成の交付金で平成20年度に3筆売却をいたしました。事前の国の情報では20万ということで概算の中であげさせていただきましたけども、国の査定の中で50%増の30万ということで交付を受けました。

【保育料】

遠藤委員

収入未済額の5万5,500円の内容は。

福祉課長

22年度現年分で1名の方が3ヵ月分滞納した分ですが23年6月30日に全額納入されました。

【老人福祉費】

遠藤委員

火災警報器をこれまでに設置した世帯数は何戸か。
また、今後未設置の世帯がまだ残っているのか。

福祉課長

火災報知器の22年度の交付件数は10件で、全体の数は80%以上の高齢世帯に設置になっております。

【林業総務費】

遠藤委員

有害駆除の効果・実績について22年度中はどうであったのか

農林水産課長

22年度は、アライグマ62頭、エゾシカ15頭、ヒグマ捕獲が1頭、カラスが34、キツネが10頭であった実績の効果は、21年度の実績頭数から比べまして、少なくなってきたっております。23年度においても引き続き駆除対策等を考えて猟友会等の協力をいただきながら進めてまいりたいと考えております。

遠藤委員

天塩町内では畑作がないと言いつながら、かなりのエゾシカ被害が出てる。家庭菜園をやっている人たちはトウモロコシなどを食われて悲鳴をあげている。
何とか抜本的に天塩町のみならず、管内的な問題、管内から全道的な問題というような形の中で広げる必要があるのでは。

町長

現在、全道の町村会や振興局等といろんな打ち合わせしながら検討を行っております。
この問題は国と道と市町村が連携しなければ解決しないと考えます。

●平成22年度 天塩町各会計決算総括表

単位：円

会計名	予算現額	歳入				歳出			差引額
		調定額	収入済額	不納欠損	収入未済	支出済額	翌年繰越	不用額	
一般会計	4,961,476,000	4,859,167,495	4,629,526,615	1,782,832	27,858,048	4,681,356,727	217,535,000	62,584,273	148,169,888
国保会計	538,190,000	538,190,000	540,708,887	4,682,860	39,686,85	520,220,487	0	17,969,513	20,488,400
水道事業会計	282,374,000	283,035,815	281,814,750	0	1,221,065	279,446,734	0	2,927,266	2,368,016
老人保健会計	1,045,000	1,037,722	1,037,722	0	0	1,037,722	0	7,278	0
下水道会計	191,933,000	192,350,945	192,221,745	0	129,200	191,407,687	0	525,313	814,058
介護(保険)	354,214,000	345,980,013	345,304,298	65,600	610,115	343,574,123	0	10,639,837	1,730,175
介護(サービス)	18,995,000	18,358,739	18,358,739	0	0	17,177,163	0	1,817,837	1,181,576
後期高齢者	38,366,000	38,091,521	37,922,621	0	168,900	37,898,001	0	467,999	24,620
病院事業	662,414,000	625,763,000	625,707,474	0	55,526	625,707,474	0	55,526	0
合計	7,049,007,000	6,948,863,850	6,872,602,851	6,531,292	69,729,707	6,697,826,118	217,535,000	96,994,842	174,776,733

総務文教常任委員会

調査日 平成23年8月12日
委員 後藤、山本
遠藤、草刈

①川口遺跡風景林の管理状況

- ・管理経費は41万2千円の経費で、5月〜10月の間50人前後の集客を図っている。無人なことから、入場者自らの記入方式により、入口2か所に入場者調べ台帳を設置してカウントしている。
- ・3基の竪穴住居の内、1基が5年前に雪害によって倒壊したが、現在のところ修復は見合わせの状況である。
- ・メイン入口の駐車場、説明看板及び竪穴住居までの散策路内の案内表示板には、破損等がなく正常に管理されている。
- ・年々減少傾向にある入込客数について、単独のパンフレットがないことから、今後は、町のホームページでのイベント案内に付随させての宣伝を最大限生かす、又、子ども達には教育の森、観光牧場での活用などで集客に努めていく。

②天塩中学校の設備管理状況

- ・平成8年建設以来、平成22年度体育館屋上防水改修を除き設備の大幅な改修は行われていない。
- ・次の点について不具合が生じていることから優先順位を付けながら年次改修計画を策定して実施していく。
- ・ボイラー室の給湯・暖房配管からの漏水
- ・外壁塗装の剥離
- ・校舎周辺の地盤沈下によるタイル陥没
- ・校舎屋上防水層の剥離
- ・時計の寿命による表示誤差（体育館・校舎外壁）
- ・蛍光灯安定器の寿命による蛍光管の点滅

③文化財の管理状況

- ・史跡の標示柱付近と通路を、夏の期間2回程草刈りを行っている。
- ・周知方法としては、天塩町ホームページの文化教育施設区分の天塩町指定文化財一覧に写真付きで掲載しているほか、社会教育中期計画書（7年計画）、社会教育推進計画書（毎年）のなかで記述している状況である。

④更岸小学校閉校に係る今後の利用等について（地域意見聴取）

○施設利用の意見

- ・天塩小学校の分校扱いや課外授業の一環で、学校農園として使用はどうか。
- ・農業研修生・実習生の宿泊施設を伴った生活の拠点としての研修センター的な施設はどうか。農協組織も含めたなかで検討は必要と思うがどうか。
- ・地域に学校が無くなると人との付き合い・交流が途絶えやすくなる。地域の行事の際、町内会館を主体に使っているが、多勢の場合などは学校を使っている。
- ・災害時の避難所に指定されているが、一旦建物を閉じた場合、緊急時に対応できないのではないかと。
- ・地域で維持管理する場合、共同作業などの出役や経費負担の問題を考えると人的・経済的に難しい。

○スクールバス通学に対する意見

- ・教育委員会では、小学生のみを対象としたスクールバス運行を考えているとの説明を受けている中で、小学生のスクールバスの停留所は国道沿いの沿岸バスのバス停と3線沿いのバス停を利用し、小学生のために

新たなバス停は設けないとの説明を受けているが、住宅の前や近くにバス停を設けてほしい。

- ・当初沿岸バスに3線のバス運行を依頼した経緯は有るものの、生活路線バスとしての利用は皆無に等しく、むしろ3線の路線バスは廃止してでも柔軟性のきくスクールバスを運行して、小学生から中学・高校生・一般人も乗せられるようなものにしていただきたい。

- ・スポーツ少年団活動の帰宅対応として、ウブシ方面と同じように高校生の部活用帰宅バスにも便乗させてもらいたい。農作業時間帯と重複する、スポーツ少年団への加入の選択肢が広がる。

●本日の意見聴取に止まらず、より良い意見を聴く意味からも、地域で女性・高齢者等を含めた中で集約してから年度内に再度意見徴収を行うことになった。



更岸地区住民との意見交換

○肉用牛問題の経過について

本年3月11日に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故を起因とした放射性セシウムの検出による牛肉の出荷停止や風評被害により、肉用牛の取引価格の暴落等が発生し、(株)社安愚楽牧場が8月9日、東京地裁に民事再生法の適用を申請し、9月6日には東京地裁が(株)安愚楽牧場に対する民事再生手続きの開始を決定しました。天塩町内にある安愚楽牧

場の天塩牧場や預託牧場8戸のほか、育成農家や肉牛農家への経済的損失などその影響は大きなものとなっています。

町の対応としては、8月11日に北海道知事と北海道議会に「(株)安愚楽牧場の民事再生法の適用に伴う預託牧場への損害賠償等に関する緊急要請書」を持参し、この問題は天塩町における問題に止まらず、道内136農場約40市町村にまたがる預託牧場に被害が及んでいます。北海道としてこれらの問題に対応する組織体制を構築し、国が責任もって対処するよう緊急要請を行ったところです。

9月8日に「天塩町肉用牛対策連絡協議会」を立ち上げ、関係機関の協力を得ながらこの問題に取り組んでいるところです。何れにしても当町には1直営牧場と8戸の預託牧場があり、牧場関係者の雇用と地域に浸透した取引経済を守らなければなりません。この町から畜産農業を絶やすわけにはいきません。

未払い預託料の補償や繁殖子牛の引き取り先を確保する対策など検討していただくよう道を通して国に要請していく必要がありますので、町議会にはご理解とご協力をお願いして、行政報告といたします。

定期預金については全部で11基金あり、北海道銀行の1年定期で0.03、稚内信用金庫で0.04になっており、3年定期では北海道銀行で0.35、天塩農協で0.03というのがあります。

8月

- 9 自民党道連移動政調会〔議長〕
- 11 北海道知事へ意見書持参提出〔札幌市、議長、菊地議員〕
- 12 産業厚生常任委員会〔全委員〕
- 15 天塩町戦没者追悼式〔議長〕
- 20 北海道議会議員工藤敏郎「留萌管内納涼交流の集い」〔苫前町、議長〕
- 23 議会広報特別委員会〔全委員〕
- 24 第11回留萌地区老人クラブ大会〔議長〕
- 25 全員協議会〔全委員〕
- 留萌開発建設部長と関係者との意見交換会〔7議員〕
- 26 天塩町振興基金運営協議会〔議長〕
- 西天北5町衛生施設組合議会〔幌延町、菊地議員〕
- 27 自衛隊旭川地方本部創立5周年記念行事〔～28、議長〕
- 28 南恵庭駐屯地創設59周年・北部方面施設隊創設3周年記念行事〔恵庭市、議長〕
- 31 留萌管内町村議会議長会議員研修会〔幌延町、8議員〕

9月

- 3 第25回札幌雄信内会総会〔留萌市、議長〕
- 7 天塩町身体障がい者福祉協会結成50周年記念式典〔議長〕
- 議会運営委員会〔全議員〕
- 8 天塩町肉用牛問題連絡協議会〔議長〕
- 天塩町敬老会〔議長〕
- 13 巖島神社修復検討委員会〔議長〕
- 14 町議会第3回定例会〔～15、全議員〕
- 17 新党大地・鈴木宗男「第6回北海道セミナー」〔札幌市、議長〕
- 26 自衛隊施設誘致要望〔旭川市、議長〕
- 27 総務文教常任委員会道内所管事務調査〔～30、帯広市外、全委員〕
- 28 産業厚生常任委員会道内所管事務調査〔～30、安平町外、議長、3委員〕

10月

- 1 衆議院議員小平忠正さんを囲む会〔議長〕
- 2 啓徳小中学校学芸会〔後藤議員〕
- サンルダム植樹会〔下川町、議長〕
- 4 自衛隊施設誘致要望〔～6、札幌市、東京都、議長〕
- 11 「全国地域安全運動」防犯出動式及び街頭啓発活動〔議長〕
- 15 北部方面隊創設59周年記念行事音楽まつり〔札幌市、議長〕
- 16 北部方面隊創設59周年記念行事祝賀会〔札幌市、議長〕
- 25 総務文教常任委員会所管事務調査
- 27 留萌地域総合開発期成会T P P中央要請〔～28、東京都、議長〕

11月

- 3 天塩町表彰式〔全議員〕
- 8 N T T光回線整備要望〔旭川市、議長〕
- 天塩町農協築落成式・設立10周年記念行事〔議長〕
- 15 畜産業の振興に係る要望〔栃木県、議長、菊地議員〕
- 16 留萌地域総合開発期成会中央要望〔東京都、議長〕
- 全国町村議長大大会〔東京都、議長〕
- 17 留萌管内町村議会議長会行政視察〔島根県、議長〕
- 21 北海道銀行天塩支店移転開店セレモニー〔議長〕
- 22 議会広報特別委員会〔2委員〕
- 全員協議会〔8議員〕
- 24 北留萌消防組合議会〔羽幌町、遠藤議員〕